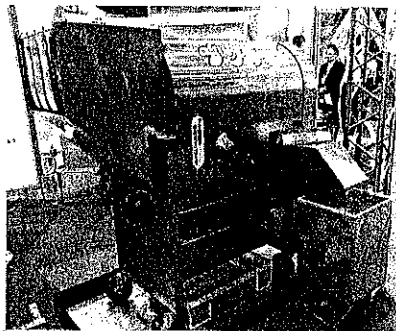


樹脂リサイクル機器製造の日本シーム(埼玉県川口市)は食品とプラスチックを分別する新型装置「フンリイ」写真Ⅱを開発した。近く発売する。食品メーカーなどが破棄していた食品を分離でき、産業廃棄物やコストの削減につながる。

新装置はヨーグルトやゼリー、レトルト食品など流動性食品に対応する。食品

食品・プラ分別の新装置

日本シーム、産廃削減に効果



が入った容器や食品パックを入れると、高速回転による遠心力で食品とプラスチックを分離する仕組み。

食品は飼料や堆肥に活用が見込め、容器に食品が混ざらないので、産業廃棄物の重量を減らすことができる。プラスチックの形状によつてはリサイクル用に販売も見込める。コンビニ弁当などは、まだ難しい。新しい装置の価格は約160万円。食品メーカーなどの需要を見込む。受注しからの納期は約2カ月という。